

は 建災防広島

発行所 ☎730-0012
 広島市中区上八丁堀8番10号
 建設業労働災害防止協会広島県支部
 発行人 高見誠一
 TEL(082)228-8250
 印刷所 広島市西区東観音町3番8号
 中外印刷株式会社
 TEL(082)291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建災防広島」の購読料が含まれています。 6月号

令和元年度

全国安全週間

期間 / 令和元年 7月1日 ~ 7月7日

スローガン

「新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場」

今年も全国安全週間の時期がやってきます。この週間は、昭和3年に実施されて以来、今年で92回目になります。

折しも、この5月から元号も「平成」から「令和」に改められ、災害ゼロを目指す「零」を想像する希望の響きを感じられます。従って、今年のスローガンにも「新たな時代」が使われており、新時代になったので、「気持ちも新たに災害防止活動を進めたい」という思いが感じられます。「PDCA」について、安全衛生マネジメントシステムが取り入れられた平成11年からすでに20年が経っていますが、この間どれほど業界に安全管理手法として、取り入れられ、受け入れられてきたのか思いをはせるところです。〔PDCA〕のPは「プラン」、計画を立て安全管理を進めることです。Dは「ドウ」、計画に基づき安全管理を実施すること、Cは「チェック」、現実にやってみた計画がよかったかどうか確認・点検・評価を行うこと、Aは、「アクト」、つまり点検・評価に基づき改良すべきところを改善して、さらに次の計画に反映することでこのサイクルを回すことにより、継続的な安全管理の仕組みができることを指すものです。

我々が、日常の活動の中で繰り返しながら

やっている普段どおりのことを表現したもので、仕事も安全も同じ仕組みを使うことが求められているものであります。地道に日頃の活動をし、ゼロ災職場が達成できることを改めて確認しておこうということだと思います。



建災防では、本社の管理部門が少なく安全衛生担当者が配置されていない中小規模の店社を対象として、簡便にシステムを構築できる建設業労働安全衛生マネジメントシステム（「コンパクト・コスモス」）の普及促進を目指しています。今年度各地域ブロックで説明会も予定されていると聞いています。新しい時代の施工管理機能と安全管理機能を見据えた取組みを是非ご検討ください。

広島労働局が取りまとめた平成30年の建設業の死傷災害は、この10年間で最も災害多発の1年となっております。死亡災害は7人と高止まり状

況になりました。第8次建設業労働災害防止5か年計画のスタートの年にとって、計画の目標達成は厳しい状況と感じていますが、本週間の実施要領をご参考にしていただき、安全週間を契機として、関係者が一丸となって労働災害防止に取り組まれるようお願いいたします。

目次

令和元年度全国安全週間	1
建設業労働災害防止協会広島県支部第55回通常総会	2
旧規格安全帯（胴ベルト型・U字つり型・フルハーネス型）から新規格のフルハーネス型安全帯へ買換える場合の補助金の要綱固まる！	4
建設工事の職場環境改善実施担当者講習を開催します!!	5

第1回の研修会が平成30年12月に開催されました！	5
平成30年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」確定値が公表されました！	6
労働災害発生状況	7
分会だより 分会長が交替されました	7
講習・行事コーナー（令和元年6月～8月分）	8

建設業労働災害防止協会**広島県支部 第55回通常総会**

建設業労働災害防止協会広島県支部第55回通常総会を去る5月22日広島YMCA国際文化センター（広島市中区）において開催いたしました。

榎山支部長の開会挨拶に続いて、ご来賓の川口達三広島労働局長より祝辞をいただいたのち、議事に入りました。

第1号議案平成30年度事業実施報告承認の件、第2号議案平成30年度収支決算承認の件及び平成30年度会計監査報告、第3号議案令和元年度交付金分担額(案)承認の件、第4号議案令和元年度事業計画(案)承認の件、第5号議案令和元年度収支予算(案)承認の件、第6号議案令和元年度広島県建設業労働災害防止大会を広島市において9月11日開催承認の件について全て承認をいただきました。議事終了後、法宗広島労働局健康安全課長より「令和元年度労働行政のあらまし」をもとに労働行政の骨子について、ご説明をいただいて総会を終了いたしました。

<令和元年度事業計画(抜粋)>**まえがき**

令和元年度の建設業を取り巻く環境について、国は公共事業の予算について、前年度比19%増6兆1,736億円の概算要求をあげてお

り、これを含めた公共工事投資額が前年を大きく上回ることが予想され、また、堅調な民間設備投資需要等も相まって投資環境は高水準を維持しており、広島県内の各自治体も公共工事投資額に昨年の豪雨災害の復旧工事に大幅な予算を計上しており、県内の建設投資額は大きく増加することが予想されます。

一方、極端な人手不足の中、建設業の担い手育成を進める上で、労働時間、休日等の改善を含めた「働き方改革」に取り組む必要があり、加えて請負契約における労働災害防止の経費の明確化、社会保険加入の推進等様々な諸課題が山積しております。

建災防の第8次5か年計画は2年目を迎えますが、1年目の昨年は死亡災害が7人と多発し、死傷災害は前年比2割以上の増加となっており、死亡災害の15%以上、死傷災害の5%以上、墜落転落災害の15%以上の各減少目標の達成には厳しい状況になっています。労働災害を減少させるためには、墜落・転落災害の防止、車両系建設機械・移動式クレーンの災害防止、解体工事における災害防止、高齢者及び未熟練者の労働災害の防止、交通事故、熱中症の防止対策を確実に実施することが重要課題であります。



榎山 支部長



川口達三広島労働局長

1. 本部基本方針に基づく重点事項の実施

事業実施計画にあたり、令和元年度における建災防本部の「事業計画」、「建設業労働災害防止対策実施事項」の基本方針及び重点実施事項、「第8次建設業労働災害防止計画」ののっとり、「安全衛生教育事業の一層の推進」、「建設業労働安全衛生マネジメントシステム(コスモス)の導入・実施」、「リスクアセスメントの確実な実施と確認」、「重篤度の高い労働災害を減少させるための重点対策」等における主要事項を支部の基本方針に据え、労働災害防止活動を展開し実施することにより安全意識の高揚を図り、監督官庁等の指導のもと、県支部・分会が共通認識に立って、労働災害の大幅減少に向けて以下の事業を効果的、効率的に推進するといたします。

2. 具体的な実施事項

- 1 技能講習等資格制度の広報活動の実施
- 2 法令・労働災害防止計画・労働災害防止規定の周知徹底
- 3 大会・月間・週間等の実施
 広島県建設業労働災害防止大会の開催
 令和元年9月11日広島県民文化センター(広島市)において、第53回広島県建設業労働災害防止大会を開催して、支部長、分会推薦による建設業フィンガー・チェック運動推進店社の表彰を実施し、死亡災害の根絶と人命尊重の理念のもと記念講演などにより安全意識の向上を図る
- 4 現場安全指導・安全パトロールの実施
- 5 建設工事に従事する労働者に対する安

全衛生教育の勧奨と実施

- 6 低層住宅建築工事の災害防止対策の推進
- 7 中小専門工事業者等(新年度より「専門工事業者」に改正)の安全衛生活動支援事業の促進
- 8 建設業労働安全衛生マネジメントシステム(ニューコスモス等)の普及、促進
- 9 職業性疾病予防対策の推進
 建設工事現場に特化したメンタルヘルス対策である「建災防方式健康KYと無記名ストレスチェック」等を活用したメンタルヘルス対策及び職場環境改善の取組として、昨年度から開催された「建設工事の職場環境改善実施担当者講習」の実施
- 10 集団指導の実施
 解体工事における労働災害防止の集団指導等の労働局への協力
- 11 会員の加入促進
 入札資格審査の際に建災防の会員であることを評価に反映するよう関係市町に要請
- 12 関係行政機関並びに労働災害防止団体との連携
 建設工事関係者連絡会議に参加するとともに、「建設業フィンガー・チェック運動」について、広島労働局、広島労務研究会の協力を得ながら、建災防自身が主体性をもって引き続き推進していく。
- 13 広島県支部組織改革の継続検討



法宗広島労働局健康安全課長



第55回通常総会風景

旧規格安全帯(胴ベルト型・U字つり型・フルハーネス型)から新規格のフルハーネス型安全帯へ買換える場合の補助金の要綱固まる！7月頃に受付開始か？

建設業労働災害防止協会は、「つり上げ荷重3トン未満の移動式クレーンの過負荷防止装置」を新規格のものに取り換える場合及び「旧規格の安全帯(胴ベルト型、U字つり型、フルハーネス型のいずれか)」を新規格のフルハーネス型安全帯に買換える場合の「既存不適合機械等更新支援補助金」について、補助業者(執行団体)になりました。この補助金にかかる実務を建災防本部が行うことになりました。以下、ここでは安全帯についてご説明します。

この補助金事業は、現在新しい構造規格に適合しないものを所有する方に対し、最新の構造規格に適合し、かつ、構造規格の基準を超える高水準のものへ更新するための買換に要する費用の一部を間接補助金(厚労省が直接行うのではなく執行団体に行わせるもの)として交付する制度です。

この間接補助金は、申請した方の全てに交付されるものではなく、事業規模の大小、従事する業務の危険度、対象器具の安全性等を審査したうえで、競争的に(優先順位をつけ)交付決定されます。

対象となる申請者は、中小企業基本法に規定する中小企業者に該当する法人、労災保険に特別加入している個人事業者、その他厚生労働大臣の承認を得て建災防が適当と認める者です。

当該間接補助金予算額は4億円(過負荷防止装置及びフルハーネス型安全帯総額)

申請額は20万円以下は認めず「まとめ申請」として、小売店が小口の申請を1つにまとめ20万円を上回る申請をする方法も認められる制度が考えられています。

補助対象となる経費は、フルハーネス型安全帯については、改正規格(平成31年2月1日)に適合していなかった既存の安全帯を新規規格のものに買換える場合の経費となります。

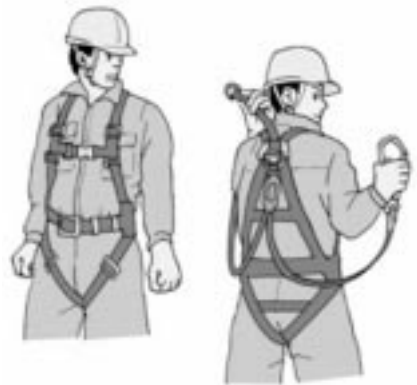
- ・1本当たりの上限：12,500円(補助対象経費「上限25,000円」の2分の1)
- ・同一申請者あたりの交付額の上限：50万円(12,500円×40セット)

例1)見積単価4万円の場合、補助対象経費は上限の25,000円となり、その2分の1の12,500円が間接補助金交付額となる。

例2)見積単価1万円の場合、補助対象経費は1万円となり、その2分の1の5,000円が間接補助金交付額となる。

注意事項

- ・対象は既存不適合機械等の改修・買換です。これらの機械等を所有・所持していない方の新規購入にかかる経費は対象外となります。
- ・旧規格の安全帯(胴ベルト型・U字つり型・フルハーネス型)を全く所持・所有していない場合は対象外となります。
- ・建設業のみならず、造船業などの製造業、運輸業等全業種を対象としています。
- ・交付決定の通知が届く前に発注、契約、支払い等を行った場合は、間接補助金の交付を受けることができません。
- ・間接補助金は、後払い(精算払い)となります。最新の構造規格に適合した機械等へ買換した後に、実績報告書等の必要書類一式を提出し、審査を受けた結果、不備がないと確認されて、はじめて受け取ることができます。



本事業に関する厚生労働省の通達があります。参考にして下さい。

平成31年3月28日(基発第0328第25号)「既存不適合機械等更新支援補助金事業実施要領」

フルハーネス型安全帯に係る間接補助金制度についての問い合わせ先

「更新支援補助金事務センター」(建設業労働災害防止協会 総務部)

電話照会：03 - 6275 - 1085、FAXでの問い合わせ：03 - 6275 - 1089

工事現場のメンタルヘルス対策を考えていますか？

無記名ストレスチェックで「集団分析手法」による問題抽出と改善手法を学べます！

「建設工事の職場環境改善実施担当者講習を開催します!!」

建設現場は、複数の事業者が混在して多くの人員が出入し、人手不足の昨今、調整等にストレスはたまるばかり。現場は元請職員、職長・現場責任者、作業の方の苦労が増大!!

ストレスから睡眠不足により脳内のコルチゾールが増加し、注意力を喚起する機能が低下し、ヒューマンエラーとなって災害要因になりかねません。

そんな悩みを建災防の「健康KYや」「無記名ストレスチェック」で集団分析を行い、課題を発見し、職長会等を通じて解決する手法を担当者に研修する講座が新しく始まりました。

建設現場の「集団分析」手法が学べる講習です。グループワーク(演習)を通じて、実践的手法を身近なものにしましょう!現場管理者、店社の労務安全スタッフ、人事労務担当者に対する講習です。自社のストレスチェックの職場単位の集団分析にも役立ちます。

国の「職場環境改善助成金」制度も設けられています。

1 講座の名称

建設工事の職場環境改善実施担当者講習

2 開催日時及び場所

日時 令和元年7月23日(火)

8:50~16:20

場所 中特会館3階会議室

広島市中区鞆町3-57

3 受講料及びテキスト代

受講料 会員6,500円 非会員7,600円

テキスト代 4,060円(いずれも税込み)

「建設現場の職場環境改善マニュアル」

「建設現場の職場環境改善事例集

(CD-ROM付き)

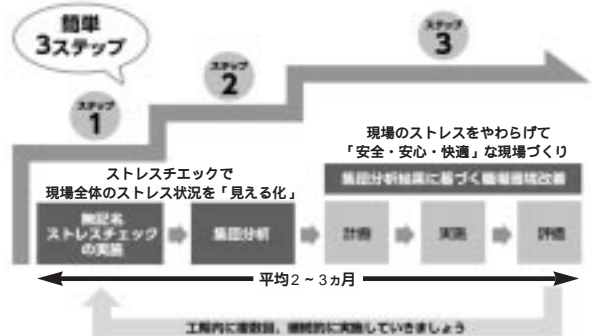
「建設工事従事者のためのセルフチェック・ハンドブック」

4 申込方法

所定の申込書に所要事項を記載し、建災防広島県支部へ申込んでください。

申込用紙は、当支部ホームページからダウンロードできます。

現場での職場環境改善は、どう進めるの？



第1回の研修会が平成30年12月に開催されました!

建設現場のメンタルヘルス対策として、建災防で開発された「建災防方式の健康KY、無記名ストレスチェックによる集団分析の手法」等の理解・修得を目的とした標記講習会が昨年12月11日広島市内で初めて開催されました。この講習には、建設現場の作業所長、大手ゼネコンの労務安全スタッフ、同保健師など専属産業保健スタッフ、地元企業の労務安全スタッフ、人事総務担当者等に加え、広島産業保健総合支援センターのメンタルヘルス対策促進員等が多数参加されました。

講義では、建設現場のメンタルヘルスの必要性、建災防方式の健康KYと無記名ストレスチェックの解説及び事例などについて、産業医を含む2名の講師の説明を受けたあと、4つの班に分かれ2時間のグループワークが行われ、講師の助言を受けながら、「集団分析モデルケース」を基に、意見を出し合う演習を行いました。受講生から「シートの作成は難しいが、職場環境の改善対策は、プライバシーに配慮しながら、職長会等でしっかりコミュニケーションをとっていくことが大切だと感じた。」等の意見がありました。

建設現場のストレスチェックによる集団分析をもとに職場改善の取組を実施した場合、産業保健総合支援センターの職場改善助成金を受けられる制度も開始されております。

建災防は令和元年度も当該講習を2回開催することとしていますのでぜひご利用ください。

本研修に関するご照会について

建災防広島県支部 〒730-0012 広島市中区上八丁堀8-10 電話082-228-8250



平成30年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」確定値が公表されました！

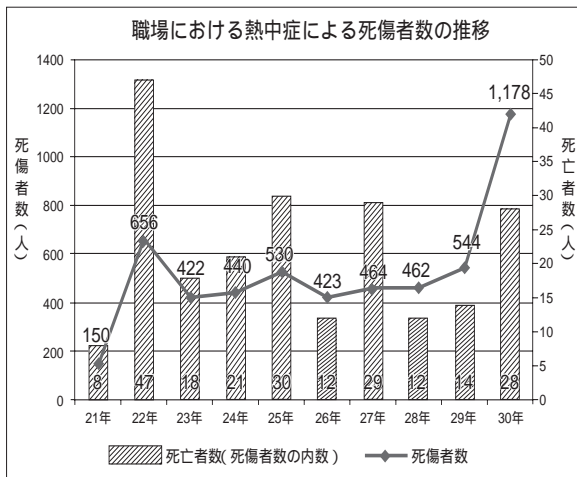
平成30年の熱中症発生状況について、厚生労働省は5月17日に概要を取りまとめました。

・平成30年における職場での熱中症による死亡者数は、28人と平成29年に比べて2倍となりました。死傷者数は1,178人と前年の2倍を超えました。熱中症による年間の死傷者数は、近年400～500人台でしたが、1,000人を超えたのは、過去10年間で最多となりました。広島県の状況につきましては本誌4月号をご覧ください。

このうち建設業が10人と全体の4割を占めています。

前年死亡がなかった製造業で5人、運送業で4人発生しています。死傷者数では、警備業が前年の3倍、運送業、製造業が前年のほぼ2倍になっています。

作業環境の把握、作業計画の変更を行わない事例や熱中症の兆候が見られた労働者の救急搬送が遅れた事例、日頃から健康診断や体調把握等の健康管理を適切に実施していない事例などが見られます。



平成30年の熱中症における建設業の死亡災害の概要

番号	月	業種	年代	事案の概要
1	6	木造家屋建築工事	40歳代	戸建て住宅新築工事において、基礎土台組、床板貼作業に従事していたが、気分が悪くなり動けなくなり、病院へ時搬送されたが、治療中に死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は25.7)
2	6	木造家屋建築工事	20歳代	プレカット材をトラックから建設現場内の作業員へ手渡しにより搬入する作業に従事していたが、昼の休憩中に具合が悪くなり、翌日に死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は30.1)
3	7	木造家屋建築工事	20歳代	木造住宅の解体現場で木くずなどをトラック荷台に積み込む作業に従事していた。午後2時30分、休憩中気分が悪くなり、そのまま木陰で休憩していたが、体調が回復しないため仕事を切り上げ、午後3時ころ帰社する途中で嘔吐、けいれんし、救急搬送された。2日後に死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は28.0)
4	7	木造家屋建築工事	50歳代	個人住宅2階のベランダ改修工事において、木製のベランダを組立て後に床部分を防水処理する作業に従事していたが、ベランダ上で倒れ、救急隊が到着するもベランダから地上に降ろすことができず、救助隊を要請した。倒れてから約1時間後に病院へ搬送されたが、2日後の早朝に死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は30.5)
5	7	その他の建築工事	50歳代	午前8時頃より個人住宅の屋根瓦の撤去作業に従事していたが、休憩中であった午前9時50分頃、嘔吐し動けないと同僚に電話があった。その後倒れている状態で発見され、救急搬送されたが、同日に死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は28.4)
6	7	その他の建築工事	40歳代	午前中は民家改修工事現場で足場設置前の既設ベランダ取り外し作業等を補助していた。午後、事業場で足場用資材をトラックに積み込んだ後、午後2時より上記現場で足場用資材の荷揚げ作業に従事していたが、午後3時40分頃に足場上で動けなくなった。救急搬送されたが、死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は31.7)
7	7	その他の建設	40歳代	屋外で配管漏れ修理作業において、新規の配管を溶接で取りつける作業に従事していたが、溶接作業終了後に体調不良を訴えた。休憩していたところ、急にけいれんを起こし、倒れ、心肺停止状態となり、病院へ搬送されたが、翌日に死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は29.3)
8	7	その他の建設	40歳代	午前7時30分より地盤調査業務に従事していたが、午前9時頃体調がすぐれない様子となり、作業を中断し帰宅した。帰宅途中で倒れ、通行人の通報により救急搬送されたが、9日後に死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は29.3)
9	8	その他の建設	40歳代	解体工事現場で基礎杭抜き作業に従事していたが、体調不良から一旦休憩に入った。再び現場へ戻った後倒れ、嘔吐、けいれんし心肺停止となった。救急搬送されたが、翌日に死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は27.4)
10	8	鉄骨鉄筋コンクリート造家屋建築工事	50歳代	午前8時より民家の残置物の撤去作業に従事していたが、昼ごろの様子がおかしいことに周囲が気が付いた。日陰で休ませたが回復せず救急搬送されたが、死亡した。 (環境省熱中症予防広報サイトによるWBGT値は32.0)

建災防広島県支部では、「建設業における熱中症予防指導員・管理者研修」を開催しています。また、建災防本部が「熱中症予防対策」「熱中症災害事例」を教育用にまとめた15分程度の視聴覚教材を、建災防本部のホームページに掲載しています。ダウンロードして現場、社内の皆さまの教育・研修用に是非ご活用ください。(建災防ホームページ「支援事業のご案内」「専門工事業者安全活動支援事業」)

平成30年・31年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)
 広島労働局 (平成31年4月末)

事故の型別	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊倒壊	激突され	はれ・き込まれ	切れこすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接	有害物等との接	感電	火災	交通事故(道路)	動作の反動・無理な動作	その他	合計	
平成30年	32	13	2	3	2	6	15	4	1	(1)	0	0	0	0	3	8	0	(1)	90
平成31年	(1)28	7	5	4	2	(1)8	9	8	2	0	0	0	0	0	5	7	1	(2)	86

()内は、死亡で内数

平成30年・31年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成31年4月末)

監督署別	全 産 業							建 設 業								
	平成30年			平成31年			増減数	平成30年			平成31年			対前年増減数	対前年増減数(%)	建設業/全産業(%)
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計			
広島中央	0	197	197	1	191	192	-5	0	21	21	0	22	22	1	4.8	11.5
呉	0	64	64	1	64	65	1	0	5	5	1	6	7	2	40.0	10.8
福 山	3	155	158	1	162	163	5	0	23	23	0	12	12	-11	-47.8	7.4
三 原	0	32	32	2	47	49	17	0	4	4	1	10	11	7	175.0	22.4
尾 道	1	47	48	1	54	56	7	0	4	4	0	11	11	7	176.0	20.0
三 次	0	54	64	0	25	25	-29	1	12	13	0	3	3	-10	-76.9	12.0
広島北	0	82	82	0	63	63	-19	0	9	9	0	10	10	1	11.1	15.9
廿日市	0	53	53	0	60	60	7	0	5	5	0	10	10	5	100.0	16.7
合 計	4	684	688	6	666	672	-16	1	89	90	2	84	86	-4	-4.4	12.8

平成31年建設業死亡災害発生状況

(平成31年4月末現在)

No.	発生日	職 種	職 種	性別	年齢	経験	事故の型	起因物	災 害 発 生 状 況
1	2月	道路河川災害復旧工事	鉄筋工事	男	70代	5年	激突され	掘削用機械	災害復旧工事現場で掘削機械のバケットのフックにワイヤロープをかけて護岸用のコンクリートブロックを吊り上げて据付け作業中、掘削機械の運転手が作業状況を確認するため立ち上がり座った際、着衣に施回用のレバーが引っ掛かり、このためアームが施回し、その横で配筋中の被災者に吊り荷が接触し被災したものの。
2	4月	災害復旧工事	作業員	男	70代	35年	墜落・転落	立木等	急斜面における災害復旧工事において、胸高直径約48cmの樫の木を伐倒するため、被災者は梯子を使用して、約7.3m付近まで登り、二股の一方の幹にロープをくくり、当該ロープに被災者が着用した身体保持器具を取りつけて身体を支え、もう一方の幹をチェーンソーで切っていたところ、ロープが幹から抜け落ちたため、墜落し約14メートル下まで斜面を転落した。

分会だより

分会長が交替されました

令和元年度の分会総会で、尾道分会の分会長が交替され、下記のとおり新分会長にバトンが渡されました。

	新分会長氏名(会社・職名)	旧分会長氏名(会社・職名)
尾道分会	新宅 活巳((株)大宝組代表取締役)	中島 秀晴(三和鉄構建設 株 代表取締役)

令和元年度講習計画

(2019年6月～8月末までの計画)

建設業労働災害防止協会広島県支部

建設工事に従事する労働者のための安全衛生教育
「建設従事者教育」(6時間)
*要請により、随時実施(支部)

作業主任者技能講習日程

地山の掘削及び土止め支保工	実施場所	受付分会	足場の組立て等	実施場所	受付分会	型枠支保工	実施場所	受付分会
6月24～26日	広島市	支部	7月18～19日	福山市	福山	7月10～11日	広島市	支部
7月3～5日	福山市	福山	24～25日	広島市	支部			
			8月6～7日	三次市	三次	コンクリート造の工作物の解体等	実施場所	受付分会
木造建築物等の組立て等	実施場所	受付分会	22～23日	尾道市	尾道	8月1～2日	福山市	福山
8月21～22日	広島市	支部	28～29日	呉市	呉			
						コンクリート橋架設等	実施場所	受付分会
						8月27～28日	広島市	支部

特別教育日程

足場の組立て等	実施場所	受付分会	フルハーネス型安全帯使用作業	実施場所	受付分会	高所作業車運転業務	実施場所	受付分会
6月13日	尾道市	尾道	6月18日	広島市	支部	7月25日	福山市	福山
7月25日	三原市	三原	7月4日	広島市	支部			
8月29日	広島市	支部	9日	福山市	福山	自由研削砥石取替え等業務	実施場所	受付分会
			17日	呉市	呉	6月27日	広島市	広島
巻上げ機(ウインチ)運転	実施場所	受付分会	低圧電気取扱業務	実施場所	受付分会			
6月27日	呉市	呉	8月2日	広島市	広島	ロープ高所作業(学科のみ)	実施場所	受付分会
8月20日	広島市	広島				7月26日	呉市	呉

特別教育に準じた教育日程

振動工具取扱作業従事者	実施場所	受付分会	刈払機取扱い作業	実施場所	受付分会
6月26日	福山市	福山	8月6日	福山市	福山

統括・職長等各種教育日程

現場管理者統括管理	実施場所	受付分会	職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会	斜面点検者教育	実施場所	受付分会
7月4日	尾道市	尾道	6月13～14日	呉市	呉	7月16日	三次市	三次
8月1日	広島市	広島	18～19日	三次市	三次	足場能力向上教育	実施場所	受付分会
熱中症予防指導員・管理者	実施場所	受付分会	26～27日	三原市	三原	足場点検実務者	実施場所	受付分会
6月19日	広島市	支部	7月17～18日	広島市	広島	6月28日	広島市	支部
7月2日	福山市	福山	8月22～23日	福山市	福山	職長・安全衛生責任者教育 能力向上教育	実施場所	受付分会
			職場環境改善 実施担当者講習	実施場所	受付分会	6月20日	尾道市	尾道
			7月23日	広島市	支部	7月11日	呉市	呉
						30日	広島市	支部

*詳細につきましては、支部及び各分会にお問い合わせください。

なお、定数に満たない場合は中止、または、延期する場合があります。

建災防広島県支部 (082) 228 - 8250

広島県支部各分会

広島分会 (082) 228 - 8252
呉分会 (0823) 22 - 6886
福山分会 (084) 924 - 4320

三原分会 (0848) 63 - 9920
尾道分会 (0848) 22 - 8918

三次分会 (0824) 62 - 4391
廿日市分会 (0829) 31 - 0196

ホームページアドレス

建災防広島県支部
建災防広島県支部広島分会
建災防広島県支部福山分会
建災防広島県支部三次分会

<http://www.jcosha-hiroshima.jp/>
<http://www.jcosha-hiroshima.jp/hiroshimabunkai/>
<http://fukubun.sakura.ne.jp/>
<http://ww7.enjoy.ne.jp/~khm62/>